

津山工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム 自己点検評価

評価日時：2026年3月26日

会議名称：教育システム点検委員会

開催場所：津山工業高等専門学校

目的：令和7年度の数理・データサイエンス・AI教育プログラムの自己点検

内部評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の審査項目観点による評価

認定制度の審査項目	科目				内部評価	評価理由
	先進科学系	機械システム系	電気電子システム系	情報システム系		
数理・データサイエンス・AIは、現在進行中の社会変化（第4次産業革命, Society 5.0, データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであること、また、それが自らの生活と密接に結びついているものであること。	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	A	シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。
数理・データサイエンス・AIが対象とする「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得ること。	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	A	シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。
様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、数理・データサイエンス・AIは様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するものであること。	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	A	シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。
数理・データサイエンス・AIは万能ではなく、その活用に当たっての様々な留意事項（ELSI, 個人情報, データ倫理, AI社会原則等）を考慮することが需要であること。また、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解が重要であること。	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	A	シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。
データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む, 説明する, 扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関すること。	計算科学	計算科学	計算科学	計算科学	A	シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。

評価基準 A：十分に満足している, B：満足している, C：改善を要する

津山工業高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム 自己点検評価

評価日時：2026年3月26日

会議名称：教育システム点検委員会

開催場所：津山工業高等専門学校

目的：令和7年度の数理・データサイエンス・AI教育プログラムの自己点検

内部評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の審査項目観点による評価

認定制度の審査項目	科目				内部評価	評価理由
	先進科学系	機械システム系	電気電子システム系	情報システム系		
データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎（統計数理、線形代数、微分積分）」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す内容であること。	情報リテラシー 総合理工基礎 基礎数学 基礎数学演習 基礎線形代数 微分積分Ⅰ 応用数学Ⅰ 計算科学 情報システム	情報リテラシー 総合理工基礎 基礎数学 基礎数学演習 基礎線形代数 微分積分Ⅰ 応用数学Ⅰ 計算科学 情報システム	情報リテラシー 総合理工基礎 基礎数学 基礎数学演習 基礎線形代数 微分積分Ⅰ 応用数学Ⅰ 計算科学 情報システム	情報リテラシー 総合理工基礎 基礎数学 基礎数学演習 基礎線形代数 微分積分Ⅰ 応用数学Ⅰ 計算科学 データサイエンス	A	認定制度の審査項目に記載されている内容を左記の科目で実施していることをシラバスにより確認した。また、シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。
AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得する内容であること。それらがAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成されていること。	情報リテラシー 応用数学Ⅰ 情報システム	情報リテラシー 応用数学Ⅰ 情報システム	情報リテラシー 応用数学Ⅰ 情報システム	情報リテラシー 応用数学Ⅰ データサイエンス	A	認定制度の審査項目に記載されている内容を左記の科目で実施していることをシラバスにより確認した。また、シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。
本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行っていること。それらが「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成されていること。	情報リテラシー 計算科学 情報システム	情報リテラシー 計算科学 情報システム	情報リテラシー 計算科学 情報システム	情報リテラシー 計算科学 データサイエンス	A	認定制度の審査項目に記載されている内容を左記の科目で実施していることをシラバスにより確認した。また、シラバスに記載されている通り授業を実施していることを成績資料より確認した。

評価基準 A：十分に満足している， B：満足している， C：改善を要する